

**特定非営利活動法人地域の未来・志援センター**  
**2008年度 事業報告書**

## 1. 地域デザイン事業

持続可能な社会づくりを行うNPO、企業、行政、地域が協働して総合的な地域の理想像を描き、実現可能な目標を設定し実現していくことを戦略的に支援する事業

- 1-1 環境経営モデル化支援事業
- 1-2 人材育成事業（2050年担い手塾）
- 1-3 地域デザインガイドブック編集（準備中）
- 1-4 地域デザイン実証事業（トヨタの森・新環境貢献プログラム「豊森」）

### 1-1. 環境経営モデル支援事業

#### 目的

環境と経営を両立させて事業を行っている企業の手法をモデル化し、他企業への普及を支援する。具体的には、リコー中部（株）グリーンプロモーション“エコひいき”の社会化（複数企業による参加）を行う仕組みづくりを行う。なお、この事業は環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）との協働パートナーシップ事業として行う。

#### 実施概要

当期はエコひいき運営事務局の運営体制が昨年度とは異なり EPO 中部が主体になり、当団体の事務局はオブザーバーとして関係した。主には萩原理事長はエコひいき運営委員会に委員として関わり、“エコひいき”の社会化に向けての意見提案を行った。

事務局は今期から手がけた 2-5「地域資源マッチング事業」に本事業を組み入れることを視野にいれつつ、2-5「地域資源マッチング事業」のデザインを行った。（2-5で報告）

### 1-2. 人材育成事業（2050年担い手塾）

#### 目的

2050年の当事者となる中学生・高校生が、世界の中の日本/日本の中の自分たちの地域の現状について学習し真剣に考え、自分たちの住む地域を持続可能な地域へと変えていくための取り組みを自ら選択し、この地域から世界に向けて提言していく力を持つ次世代の地域リーダーを育成する。

#### 実施概要

なごや環境大学の講座の一つとして中学生高校生向け環境学習講座「2050年担い手塾」を開催し、子ども達がCO2半減目標の2050年までの世の中を担う力をつけるための講座を行った。

5月に、岐阜県石徹白にて、マイクロ水力発電を題材とした山の合宿、7月に、漁村の持続可能性を題材とした海の合宿を行った。また、11月から2月にかけて、月一回、地域の持続可能性を様々な視点から扱う講座を開催した。

#### < 講座『2050年担い手塾』の開催 >

開催日：2008年5月および7月の土日、2009年11月～2009年2月の土曜日

主催：地域の未来・志援センター 2008年春期および秋期なごや環境大学共育講座として

場所：藤前活動センター、ウィルあいち、中学生涯学習センター、名古屋大学環境総合館

参加対象：中学生・高校生。 大学生がグループファシリテーターとして協力参加。

内容：表に記載

| 開催日時 | 講師 | 講座タイトル/概要 | 参加者数 |
|------|----|-----------|------|
|------|----|-----------|------|

|                                  |   |   |                                 |
|----------------------------------|---|---|---------------------------------|
| 5/24(土)9:00<br>～<br>5/25(日)17:30 | 名古屋大学大学院環境学<br>研究科 高野雅夫氏<br>駒宮博男氏                   | 集中合宿講座 「山の合宿」/<br>小水力発電シンポジウムへ参加。振り返り。  | 9名<br>中学0名<br>高校9名              |
| 7/19(土)9:00<br>～<br>7/20(日)17:45 | 高野雅夫氏<br>NPO法人 0563.net<br>榊原正利氏<br>井上淳之典氏<br>戸上昭司氏 | 集中合宿講座 「海の合宿」/<br>愛知県一色町、佐久島を散策。干潟と、<br>海の生物多様性について。漁村の持続可<br>能性。                                       | 17名<br>中学0名<br>高校17名            |
| 1 11/16(日)<br>11:30～16:30        | NPO法人藤前干潟を守る<br>会 辻敦夫氏<br>高野雅夫氏                     | 人と人・人と自然のコミュニケーション<br>～干潟で生き物たちとおしゃべり?!～<br>/藤前干潟にてしおだまりをフィールド<br>ワーク。野鳥と世界の環境の繋がり。                     | 14名<br>中学1<br>高校13              |
| 2 12/23(土)<br>13:00～16:30        | 高野雅夫氏<br>駒宮博男氏                                      | 生物多様性と持続可能性～生き物たちと<br>ともに生きていくとは?～/お弁当から<br>考える、いきものとの繋がり。  | 10名<br>中学2<br>高校6<br>大学生2       |
| 3 1/17(土)<br>13:30～16:30         | NPO法人子どもの国 井村<br>美穂氏<br>高野雅夫氏<br>井上淳之典氏             | 人間の暮らしの多様性～世界の人々とと<br>もに生きていくとは?～/豊田市保見ガ<br>丘の在日ブラジル人とその子供たちを取<br>り巻く現状と取組み。<br>*高校のイベントと重なり、集客が出来なかった。 | 4名<br>中学0<br>高校0<br>大学生3<br>一般1 |
| 4 2/7(土)<br>13:30～16:30          | 高野雅夫氏<br>駒宮博男氏                                      | 地域のテーマと自分のテーマ～この町が<br>好きだから考え続けたい～/木の声を聞<br>こう!   | 6名<br>中学0<br>高校6                |

## < 2 . 成果/課題 >

【成果】延べ 74 名の高校生が、持続可能な社会を作っていく、という視点から、現在の社会が抱える課題に触れたり、その解決に取り組んでいる地域のキーパーソンとの接点を作ることが出来た。

【課題】本事業の受講生は、これまで、愛・地球子どもクラブのOBを中心に集客を行っていたが、それ以外の集客ルートの必要性が以前から内部で指摘が上っていた。今年度から積極的に関わって事業に教え子を連れてきてくれる先生から、先生の視点として、地域に生徒を連れ出したいくても、仕事に追われて出来ないといいために、このような企画があって助かるという話を頂いた。そのため、2009年は、愛知県内で活発な地域活動を行う先生をNPO法人アスクネットに紹介いただき、直接学校の先生を介した高校生へのアプローチを検討する。



2050年担い手塾秋期チラシ



山の合宿 宿でワークショップ



第4講座 雑木林を使ったフィールドワーク

## 1 - 4 . 地域デザイン実証事業 (トヨタの森・新環境貢献プログラム「豊森」)

## 目的

森林を活用した人づくり、地域づくり、しくみづくりを目的としたプロジェクト。地域に根ざして生きていく人材、また、森・暮らし・仕事、森とまちをつなぐ人材の育成をめざし、地域循環型・持続型社会のしくみづくりを基軸に、暮らしの中で人と人の心を結びなおす「豊森モデル」を構築すること。

## 実施概要

本講座開講のに向けたプレ事業、カリキュラム構築、豊田市・トヨタ自動車・NPOのコンセンサスのための会議(実行委員会)、地元関係者との調整、受講生募集のためのプレスリリース、本講座開講式及び公開講座、本講座の第1回と第2回の実施、等を行った。

このプロジェクトの実施体制として、当NPO理事の他、NPO法人樹木環境ネットワークの澁澤寿一氏にプロジェクトのリーダーを依頼。さらに事務局スタッフとして5名を採用した。

### <実施内容>

- ・2008年10月～地域の未来・志援センターにおけるプログラム企画準備
- ・2009年2月13日 キックオフ会議
- ・2009年2月14日 第1回プレ講座
- ・2009年3月7日 第2回プレ講座
- ・2009年4月15日 プレスリリース/豊森ウェブサイト公開
- ・2009年4月30日 受講生募集締め切り
- ・2009年5月7日 選考会議
- ・2009年5月17日 開講式&公開講座(枝廣淳子)
- ・2009年5月23日 本講座/第1回 導入講座「地域とは」
- ・(2009年6月27日28日 本講座/第2回 地域を知る～山村編/マネジメント講座)

**キックオフ会議** 2009.2.13(金)トヨタの森 里山学習館・エコの森ハウス 48名参加

いよいよプロジェクトの立ち上がりということで、実行委員会の中井昌幸会長(トヨタ自動車)が冒頭の挨拶。その後、地域の未来・志援センター代表理事の萩原喜之が、実行委員会副会長として、「豊森への豊富」について話し、続いて実行委員長の澁澤寿一が事業の概要について説明。さらに、地元の協力者として足助の小澤庄一氏と山本薫久氏に地元への思いを語ってもらった。またマエキタミヤコ氏の協力による豊森のロゴマークも発表された。

\*この会議において、「豊森」プロジェクトの主旨を、地元及び内外の関係者に知らせることができた。



**プレ講座** 「豊森なりわい入門」として事前説明会&現地見学会を2回実施した。

- ・第1回 2009.2.14(土)豊田市商工会議所多目的ホール 52名参加(うち見学会参加30名)  
現地見学会は3コース

Aコース...西村自然農園 Bコース...NPO法人矢作川自給村 Cコース...足助新盛耕流塾

- ・第2回 2009.3.7(土)ミッドランドスクエア2501会議室 50名参加(うち見学会38名)

Aコース...林富造 Bコース...梶誠(足助炭焼き塾) Cコース...鈴木禎一、安藤久

\*講座正式な受講生募集の前にプレ講座を実施することにより、事務局サイドとしては、受講希望者の感触をつかむことができ、参加者サイドにとっては、応募するかどうかの判断の目安になったということでのプレ講座実施の意義は大きかった。実際、プレ講座参加者の3分の1の人から応募があった。



プレスリリース 2009.4.15 豊田市役所市政記者クラブ

\* 豊森として、初めての正式なリリース。萩原副会長と澁澤委員長が説明。記者6名より、市・トヨタ・NPOの3者からのスタッフの数の数の方が多く、主催者サイドの心意気が溢れた。

毎日、日本経済、日経産業、読売、時事通信、中部経済、中日の7紙に掲載された。

この日、豊森の公式ウェブサイトがアップされた。

<http://www.toyomori.org>

### 受講生選考

30名前後の募集に対して、4月30日締め切りでの応募者は、120名と予想以上の反応だった。選考については、その考え方も含めて会議を重ね、30名+5名(サブスタッフとして)に絞り込んだものの、今回の選考から外れた人たちも「豊森つながり」として、つなぐ仕組みを検討することとした。



開講式 & 公開講座 2009.5.17(土) 豊田市商工会議所多目的ホール

新しい山里暮らし求めて

環境ジャーナリスト枝廣淳子さんによる公開講座 講演する枝廣さん いずれも豊田市小坂本町の豊田商工会議所で

山里での生活をなりたいとする人材を育てる「豊森なりわい塾」の開講式だが、豊田 豊森から選ばれた豊田 市や名古屋市の二 十代から五十代の会社 員や学生ら三十人が受 講。二年間かけて、都 市と豊山村をつなぐ事 業の立案や、新たな生

「同じ志の仲間と頑張る」

豊田 豊森なりわい塾、開講式

活スタイルの先頭がで きるよう学ぶ。 式では、主催者の豊 森実行委員会の萩原 之副会長が、塾を通じ て新しい地域との関係 をつづけていくらと たいさつ。受講生を 代表して、梅原さん が同じ志を持つ仲間

<開講式> 参加者：受講生とスタッフ

選考された受講生が集まったの開講のセレモニーを実施。挨拶、委員・スタッフ・講師の紹介、受講生挨拶を行い、全員での記念撮影。その後、講座に向けてのオリエンテーションを実施した。

\*これが、受講生どうしが初めて顔を合わせる場となった。当初、緊張と不安の面持ちだったのが、オリエンテーションの頃には、緩んで打ち解けた雰囲気になっていた。

<公開講座> 午後から枝廣淳子さん講演会  
139人参加(うち一般は81人)

「本当の幸せと地球のために ~ 私たち一人ひとりにできること」と題して枝廣さんが約90分の講演を行った。公開講座については、受講生だけでなく、地元や選考から外れた応募者を中心に広く一般も参加できる形の講座として位置づけ、事前に案内ちらしを作成して広報した。

第1回導入講座 2009.5.23(土) 扶桑館(足助) 参加者: 受講生、スタッフ  
基礎講座として、「地域とは」(澁澤寿一)と「自然資本主義とは」(当会副理事長、駒宮博男)の2つの講義を実施。お昼をはさんで、当会副理事長の井上淳之典が担当する「マネジメント講座」初回のプログラムとして、ファシリテーションの基礎と題してインタビューゲームを実施。



.....  
以下は2009年度に入ってからのものであります。

第2回講座 2009.6.26(土)27(日)合宿 参加者: 受講生、スタッフ  
26~27am フィールド演習: 地域を知る「歩く・観る・聴く」~山村編~  
27pm マネジメント講座: マーケティング概論

フィールド演習では、地域がどのように成り立ってきたのかをテーマに、実際に地域に入り五感でそのリアリティを感じることを目的に、グループに分かれ、足助地区新盛 足助地区漆畑 下山区羽布町 小原地区樽俣町 旭地区日下部町 稲武地区大野瀬町の6つのフィールドを地元案内人と一緒に歩いた。2つの宿泊所に戻り、それぞれ、観てきたこと、聴いてきたこと、感じたことを模造紙にまとめる作業を行い、翌日の発表に備えた。翌日は足助扶桑館に全員集合し、グループごとに発表。最後に澁澤委員長からまとめの講評を聞いた。

2日目の午後のマネジメント講座では、黒猫タロウの屋台屋本舗ゲームの入門編を3つのテーブルに分かれ、会計の基礎や利益の本質についての考察、自分で意思決定する体験の積み重ねによる瞬時の判断力づくり、マーケティング活動の重要性への認識を高めることなどを目的に、ゲームを実施した。とに発表。最後に澁澤委員長からまとめの講評を聞いた。



フィールド演習のようす



まとめ作業のようす

## 2 . 財源・資源の開発事業

持続可能な社会づくりを行うNPO、企業、行政、地域が不足している財源・資源を開発・提供する事業

- 2-1 助成金セミナー開催
- 2-2 人材育成事業（損保ジャパンCSOラーニング制度）
- 2-3 人材育成事業（三重大学環境NPOインターン制度）
- 2-4 中間支援NPO人材育成システム開発事業
- 2-5 地域資源マッチング事業（地域公益ポータルサイトなど）

### 2 - 1 . 助成金セミナー開催

#### 目的

NPO の運営にとって活動の資金源の開発は重要である。NPO の活動について社会から資源・資金が提供される（ファンドレイジングされる）社会作りのために、地域におけるファンドレイズの素地作りを行う。

#### 実施概要

2008年11月22日の午後に『地域を活かす助成金セミナー：～三重で聞く！全国、中部の最新情報！～』を行った、このイベントは2部構成で行い、第1部は「財源・資源の開発事業」の活動の一環として助成金に関する「地域を活かす助成金セミナー」を、第2部には参加者と助成機関の交流を目的とした「参加者・助成機関交流会」を行った。

「地域を活かす助成金セミナー」では全国区及び東海三県にわたる助成機関に参加を呼びかけ、また来場者としても東海3県のNPO・行政・企業に参加を呼びかけることによって、開催当日だけでなく、開催に至る過程においても3県3セクターに当団体の活動を紹介するとともに、今回は三重県内の12の中間支援団体の共催という形で三重県の地域に密着したセミナーを実施した。参加者は三重県の方が多かったが岐阜、愛知からの参加もあった。

また、セミナー終了後の19時から同じ会場にて、三重の中間支援組織をテーマにした「NPOがNPOの想いを達成するためには何が必要か？～なぜ今、みえNPOセンターなのか？～」を開催した。

< 1 . 『地域を活かす助成金セミナー』～三重で聞く！全国、中部の最新情報！～ >

開催日時：2008年11月22日（土）13:30-18:00pm

開催場所：みえ市民活動ボランティアセンター イベント情報コーナー

主催：NPO法人 地域の未来・志援センター / セブン-イレブンみどりの基金

NPO法人 みえNPOセンター

共催：三重県 / 三重県内各地域の中間支援団体（13団体）

【北勢地域】NPO 法人市民社会研究所 / NPO 法人市民ネットワークすずかのぶどう / NPO 法人みえきた市民活動センター / 【伊賀地域】伊賀市市民活動支援センター / W.T.Aまちづくりセンター / 【中勢地域】NPO 法人コミュニティシンクタンク評価みえ / NPO 法人市民福祉ネットワークみえ / 津市市民活動センター / 松阪市市民活動センター / NPO 法人三重県子ども NPO サポートセンター / NPO 法人みえ防災市民会議 / 【南勢地域】いせ市民活動センター / 【東紀州地域】NPO 法人海山 IT フォーラム

後援：環境省中部地方環境事務所 / 愛知県 / 岐阜県 / 津市 / NPO 法人 伊勢志摩 NPO ネットワークの会

参加者数：下記参照 内容・詳細：

| 項目                 | 内容・詳細       |
|--------------------|-------------|
| (1)「地域を活かす助成金セミナー」 | 13:30～16:50 |

|  |   |
|--|---|
| 参加者数   | 第1部：36名（NPO：28名、企業：2名、行政：3名、中間支援：3名）<br>（スタッフ・講師・関係者：14名、総参加者数：50名）   |
| 参加団体<br>助成団体名（11団体）<br>（1）講師として参加<br>（6団体）<br><br>（2）資料のみの参加<br>（5団体）  | TOTO水環境基金（中塚様）/財団法人トヨタ財団（大庭様）/三井物産環境基金（稲村様）/セブン-イレブンみどりの基金（野崎様）/株式会社デンソー（門井様）/株式会社三重銀行（馬場様）<br><br>地球環境基金/全労済/日野自動車グリーンファンド/あいちモリコロ基金/東海労働金庫（NPO創業助成制度、NPO寄付システム） |
| 参加団体名：<br>三重県子どもNPOサポートセンター/NPO法人市民福祉ネットワークみえ/三重県生活文化部 男女共同参画・NPO室/伊賀市市民活動支援センター/みえNPOセンター/W.T.A.まちづくりセンター/三重県生活文化部 男女共同参画・NPO室/M-EMS認証機構/NPOさわやか/ボランティアセンター・ラプリーフォレスト/NPO法人市民ネットワークすずかのぶどう/海っ子の森サークル/三重県熊野県民センター/studio-L/NPO法人海山ITフォーラム/尾鷲県民センター/NPO法人生ごみリサイクル思考の会/NPO法人表浜ネットワーク/伊賀市市役所/NPO法人中部国際フォーラム |   |
| 第2部：「交流会」 17：00～18：00  |   |
| 参加者数   | 第2部：25名（NPO：17名、企業：2名、行政：1名、中間支援：3名）<br>（スタッフ・講師・関係者：14名、総参加者数：39名）   |
| 参加団体<br>助成団体名（6団体）   | TOTO水環境基金/財団法人トヨタ財団/三井物産環境基金/セブン-イレブンみどりの基金/株式会社デンソー/株式会社三重銀行   |
| 参加団体名：<br>三重県子どもNPOサポートセンター/NPO法人市民福祉ネットワークみえ/伊賀市市民活動支援センター/みえNPOセンター/W.T.A.まちづくりセンター/三重県生活文化部 男女共同参画・NPO室/M-EMS認証機構/NPOさわやか/NPO法人市民ネットワークすずかのぶどう/海っ子の森サークル/studio-L/NPO法人海山ITフォーラム/尾鷲県民センター/NPO法人生ごみリサイクル思考の会/NPO法人表浜ネットワーク   |   |
| 車座トーク：<br>「NPOがNPOの想いを達成するためには何が必要か？～なぜ今、みえNPOセンターなのか？～」<br>19：00～20：30  |   |
| 参加者数   | 21名（NPO：7名、企業：4名、行政：1名、中間支援：4名、学生：5名）<br><br>（スタッフ4名、総参加者数：25名）   |
| 参加団体名：<br>伊賀市市民活動支援センター/みえNPOセンター/W.T.A.まちづくりセンター/三重県生活文化部 男女共同参画・NPO室/M-EMS認証機構/NPOさわやか/NPO法人海山ITフォーラム/NPO法人生ごみリサイクル思考の会/財団法人トヨタ財団/三井物産環境基金/セブン-イレブンみどりの基金/株式会社デンソー/株式会社三重銀行/三重大学学生/地域の未来・志援センター  |   |

結果・課題：

2005年、2006年の助成金セミナーは名古屋で開催し、昨年は岐阜での開催だった、本年は地域の未来・志援センターの活動エリアは東海3県ということで三重で実施した。各助成機関の制度説明においては昨年のセミナーで好評を得た、各機関共通のフォーマットを事務局側で用意し、それにあわせて説明をしていただきました。このセミナーに参加された方が本年度のセブン-イレブンみどりの基金の公募助成に応募され、助成金を獲得された（1団体）。

また、後段の「NPOがNPOの想いを達成するためには何が必要か？～なぜ今、みえNPOセンターなのか？～」では、三重の中間支援組織をテーマにしたトークが行われ、「中間支援組織は県内各地にあるが、それをバックアップする仕組みが無い。」「今まで県が担ってきた部分が市町の方にシフトしてきているが、市町にはノウハウが無い。」などの意見があがった。車座トークには助成金セミナー

に講師として参加した、助成金担当者のうち2名の方(トヨタ財団、三井物産環境基金)が参加され、中間支援組織の必要性の認識を新たにしたという感想を頂いた。



第1部:助成機関制度説明



第1部:質疑応答



第1部:質疑応答



車座トーク

**地域を活かす助成金セミナー**  
～三重で聞く! 全国、中部の最新情報!～

自分の地域にあった助成金制度がわかる...!

「助成金セミナー」も今年で4回目、今年は11/22(土)に三重県の各市で開催することになりました。助成機関から担当者にお話ししたいという担当者から直接、助成制度の特長と申請書の書き方のポイントをお話しさせていただきます。先着50名の定員です。お早めにお申し込みください!

助成制度を「地域力」高めるには助成金申請にチャレンジをしないとNPO・市民団体の皆様、全国・地域の助成金制度の特長や違いが一度にわかるこの機会を使って、活動の幅を広げてみませんか?

**担当者が来る!** 環境・まちづくり対象  
**助成団体一覧【助成対象地域】**

1. TOTO水環境基金【全国】
2. (財)トヨタ財団「地域社会プログラム活動助成」【全国】
3. 三井物産環境基金【全国】
4. セブン・イレブンみどりの基金【全国】
5. (株)デンソー「DECO ボン」【愛知・三重】
6. (株)三重銀行「NPOサポートファンド」【三重】

主催: NPO法人地域の未来・支援センター/セブン・イレブンみどりの基金  
NPO法人 みえNPOセンター (法人申請: 11月申込予定)

共催: 三重県/三重県内の各地域の中間支援団体(任意に限り)  
後援: 環境省中部地方環境事務所/愛知県/岐阜県/津市/伊勢志摩NPOネットワークの会  
協力: 環境省中部環境(パートナーシップ)オフィス

平成 20年 11月 22日(土)  
13:30 - 18:00  
受付/13:00～

みえ市民活動ボランティアセンター イベント情報コーナー(アスト3階)  
一般参加費: 1,000円  
地域の未来・支援センター会員: 無料 (申込、申込済の方にのみ有効となります。)  
交流会費: 1,000円(軽食代) 定価 50円

**プログラム**

- 助成制度の紹介
- 助成機関の担当者による、制度紹介とポイントの解説
- 質疑応答とトークセッション
- 助成制度の限界、資金確保の仕組みづくりの必要性など
- 交流会 (17:00～18:00)

**目的・前提!**  
NPOがNPOの想いを達成するためには何が必須か? ～なぜ今、みえNPOセンターなのか?～

時間 19:00～20:30 (助成金セミナー後)  
会場 無料 助成金セミナーと同じ  
三重県内、他地域のNPOセクターが抱える課題とは? 一歩進歩の仕組みづくりとそれと連携する地域ネットワークの可能性を探る。

**会場アクセス**

みえ市民活動ボランティアセンター内 イベント情報コーナー(アスト3階)  
三重県津市近所町700番地 アスト3階  
(電話) 059-222-5995 (FAX) 059-222-5971  
● 近鉄・JR「津駅」下車、東改札口を出て左へ徒歩1分

お申込み・お問い合わせ (ご参加は事前申込制となります。交流会のみ予約可。11月18日(火) NPO法人地域の未来・支援センター TEL: 052-331-6141/TEL: 052-339-5651 HP: <http://www.centra.org/> E-mail: [office@centra.org](mailto:office@centra.org) 〒460-0014 三重県津市近所町700番地アスト3階

--- 下記欄に必要事項をご記入の上、E-mail、FAX、郵送にてお申し込みください ---

|                |        |
|----------------|--------|
| 参加申込書 (申込日 / ) |        |
| お名前            | 電話番号   |
| ご所属            | FAX番号  |
| ご住所            | E-mail |
| ご住所 〒          |        |

郵送の場合は期前でも(1,2,3)の区別もお願いします

|           |   |
|-----------|---|
| 参加希望日     | 1 地域を活かす助成金セミナー (一般: 1,000円/支援センター会員: 無料) |
| お申し込みください | 2 交流会 (軽食代: 1,000円) (交流会のみ参加: 11月18日(火))  |
|           | 3 円日研修: NPOがNPOの想いを達成するためには何が必須か? (無料)    |

地域の未来・支援センター事務局 個人情報は地域の未来支援センター事務局の取扱いとなります。お申し込みの際は必ずお申し込みの趣意を記載してください。

**FAX先 052-339-5651**

## 2 - 2 . 人材育成事業 ( 損保ジャパンCSOラーニング制度 )

### 目的

地域における資金・資源が環境NPO、その活動へと向かう仕組み、ファンドレイズの仕方に注目している。その地域資源の一つとして大学生を位置づけ、その大学生が環境活動をする NPO ヘインターン生として8ヶ月間(約150時間)研修する制度(損保ジャパンCSOラーニング制度)がある。

実際に当団体がその制度を用いて大学生のインターンを受け入れることで、NPOでインターン生を受け入れることのNPO側の意義や課題、大学生側の意義や課題を実運営の中から考える。

### 実施概要

昨年に引き続き、6月より損保ジャパンCSOラーニング制度によってインターンの大学生の受け入れを行った。

### < 1 . 実施内容 >

本年は1名(女性)のインターン生を受け入れ、ともに活動した。

- ・大西麻央(おおにしまお)【三重大学 人文学部 法律経済学科 1年】

以下の内容を行った。

#### 【内容】

- ・「中間支援NPO人材育成システム」ヒアリング
- ・「2050年担い手塾」実施準備、当日運営、スタッフ参加(グループファシリ)
- ・「助成金セミナー」実施準備、当日運営(会場準備、受付、記録写真撮影など) 議事録作成
- ・「ファシリテーター養成講座」への参加、実施準備、当日運営
- ・その他(総会への参加、豊田エコマップ調査への参加、議事録作成など)

インターン修了後も団体のイベントに参加、協力してもらっている。

## 2 - 3 . 人材育成事業 ( 三重大学環境NPOインターン制度 )

### 目的

地域における資金・資源が環境NPO、その活動へと向かう仕組み、ファンドレイズの仕方に注目している。その地域資源の一つとして大学生を位置づけ、その大学生が環境活動をする NPO ヘインターン生として約90時間研修する制度を三重大学が新たに作った。

当団体が環境NPOとの仲介を行い、大学におけるNPOインターンシップ制度をサポートした。

### 実施概要

当初10名程度の応募者見込みがあったが、実際の参加者は2名だった。二人は、中部リサイクル運動市民の会と、エコデザイン市民社会フォーラムをインターン先として希望したため、当団体はコーディネート業務に徹する形となった。受け入れの最初に団体の合同説明会を開催し、終了後、当プロジェクトに寄付をしてくれた三重県的美容院SEFFに、インターン終了生2名と活動報告に行った。

### < 1 . 実施内容 >

本年は2名(男性1名、女性1名)のインターン生のコーディネートを行った。

- ・安藤雄太(あんどゆうた)【三重大学 生物資源学部 1年】  
インターン先：NPO法人中部リサイクル運動市民の会を中心に行う
- ・伊藤朋江(いとうともえ)【三重大学 人文学部 1年】  
インターン先：NPO法人エコデザイン市民社会フォーラムを中心に行う

#### 【内容】

#### 1 . 共通活動(地域の未来・志援センターが担当)

8/20(水) 地域の未来・志援センター活動日：

CSRを地域で取り組む企業、(有)ワッツビジョンの代表を訪問し、インタビュー

を行う。

8/29(金) オリエンテーション 1 日目

- ・萩原理事長より、NPO3 団体設立経緯の説明
- ・各団体活動発表
- ・地域デザイン講義/WS 意見交換(志援 駒宮副理事)

8/30(土) オリエンテーション 2 日目

- ・会社ゲーム(志援 井上副理事)

9/1(月) インターン活動用として寄付を頂いた、美容院サロン S E F U の中村様を訪問。  
インターン時間外として開催。

9/19(金) 振り返り

2009/5/31(日) インターン活動用として寄付を頂いた、美容院サロン S E F U の中村様に活動報告のため訪問。  
インターン時間外として開催。

## 2. 個別活動(受け入れ団体が担当)

中部リサイクル運動市民の会活動日：

- 環境イベント「エコまなメッセ」への参加：子供向け竹細工リサイクル工作補助(安藤・伊藤)
- リサイクルステーションの現場体験(安藤・伊藤)
- 環境デーなごやに向けた準備・スタッフ参加(安藤)
- 一色町環境会議への参加(安藤)

エコデザイン市民社会フォーラム活動日：

- 環境デー名古屋に向けた準備・スタッフ参加(伊藤)
- 地下鉄利用者の交通駅ポイント交換業務体験など(伊藤)
- エコマネーセンターにてエコポイント交換カウンター業務体験など(安藤)

### < 2. 成果 / 課題 >

【成果】受講した 2 名のうち、伊藤氏は、インターン終了後、エコデザイン市民社会フォーラムのアルバイトとして継続的に事業に関わっている。安藤氏は、地域の未来・志援センターの事業の学生スタッフとして、協力を頂いている。インターンの支援金(交通費補助)として寄付を頂いた美容院 S E F U の中村様からも、二人の成長を高く評価いただき、継続的な寄付金の獲得ができることとなった。

【課題】当初、三重大学から、10 名程度の学生が N P O インターンシップ制度を使うとの話があったが、実際には 2 名の参加で 2009 年度のインターン予定者は 1 名である。今後、学生のニーズ、学生、大学側の状況などを把握するために大学の担当者、部局と話が出来る場の設定が必要である。



左・中:エコデザイン市民社会フォーラムでの受付業務

右:美容院 S E F U への活動報告

## 2 - 4 . 中間支援NPO人材育成システム開発事業

### 目的

NPO 中間支援組織を担う中核となる人材を育成する新たなシステムを開発する。

### 事業内容

NPOの活動の浸透に大きな力を持つ、中間支援NPOスタッフに求められる人材の能力（意識、スキル）を調査分析し、用件を明らかにしながら、それを反映させた学習システム（プログラムやネットワーク環境など）や学習ツールなどのテキストを開発する。

### < 1 . ヒアリングの実施 >

- 1)対象：東海地域の中間支援に実績のあるキーパーソン。および、若手スタッフ。10名程。
- 2)実施日程：2008年10月～2009年1月まで
- 3)実施予定場所：東海3県
- 4)実施形態：個別ヒアリング
- 5)従事者人数：理事：井上、事務局：北村、都筑、CSOラーニング生：大西、会員：戸上昭司
- 6)目的：中間支援組織の人材育成に関する現状把握。キーパーソンたちの問題意識の把握。

### < 2 . 中間支援若手座談会の開催 >

- ・場所 中部リサイクル運動市民の会 会議室
- ・テーマ 中間支援NPOで働いて...? -同世代に向けたホンネのメッセージ-
- ・参加者：8名

ヒアリングをより効果的に行うためにも地域型/テーマ型、公設民営/民設民営/公設公営、対象地域のバランスを考慮しながら、東海三県の中間支援NPOに関わる20代前半から30代前半の若者に参加を呼びかけ、座談会を実施した。現場の本音の情報を得ることを目的とし、覆面形式で公開することを前提に実施した。

### < 3 . 中間支援NPO人材育成ガイドブックの製作 >

中間支援組織には、あり方が多様である。さらに組織の成り立ちや代表の組織論/NPO論、地域性、有する経営資源や解決すべき課題も各々に大きく異なる中間支援NPOの実情を考えると、そのガイドを一定一律のコンテンツで構成することは到底不可能である。若手のスタッフが、自分自身と、自分自身が勤める（勤めようと考えている）中間支援組織や地域の実情を確認しながら、自分のミッションをすり合わせていくことができる書き込み式ワークブックをメインコンテンツとした。

- ・ワークブック（25ページ）
- ・中間支援NPOスタッフのストーリー漫画（6ページ）
- ・中間支援組織若手スタッフ覆面座談会記事（11ページ）
- ・情報ソースリスト（4ページ）

### < 4 . 成果/課題 >

このテキストを使った、中間支援組織向けの研修プログラムや、中間支援NPOと企業との協働について考える研修プログラムを企画しており、既に複数の団体から要請を頂いている。今後は、このテキストが各地の中間支援組織で活用されていくように、積極的な働きかけをしていく予定である。

また、地域で中間支援NPOに関わっている若手職員のグループから、本プロジェクトに対して関心を示して頂き、勉強会等で調査内容を紹介して欲しいとの依頼を頂いた。このように、本プロジェクトの調査結果・プロセスを地域の様々な団体と積極的に共有する動きを作っていく。それにより、中間支援NPOやそこで努める若いスタッフたちが、自立連帯しながら中間支援NPOの人材育成の土壌作り、そこからNPO全体の人材育成へとつながっていく道筋をつくっていきたい。中間支援NPOで働く人材育成のプログラムとしてテキストを作る今回の取り組みは、おそらく前人

未踏の試みで、わずか1年という短い期間で、目的が100%達成出来たとは思ってはいない。今回作成したテキストブックで提示したものは、あくまでたたき台であり一つのステップだと考えており、テキストブックの普及促進や、地域の中間支援NPOでの研修、勉強会での調査発表等を通じて、更なる改良・増補を加え、より使いやすいテキストブックに進化させていく予定である。

## 2 - 5 . 地域資源マッチング事業（地域公益ポータルサイトなど）

### 目的

日本財団・IIHOE〔人と組織と地球のための国際研究所〕の進める地域公益ポータルサイトプロジェクトに参画し、地域の資源をマッチング・循環させる地域のファンド・ポータルサイトの形成について取り組む。

### 実施概要

日本財団・IIHOE〔人と組織と地球のための国際研究所〕が主催する地域公益ポータル推進プロジェクトの全国会議(計3回)への参加。東海地域における地域公益ポータルについて、「地域資源マッチングシステム構築事業」の実行に向けて、団体内で企画検討会議を開催。

### < 1 . 実施内容 >

5月23日・24日 地域・テーマ別@ポータル推進プロジェクト第1回推進会議 参加

場所：仙台

参加者：北村政智（事務局）、戸上昭司（団体会員）

テーマ：1日目 プロジェクトの概要説明と、各地域のデータベースの現状・課題の共有  
2日目 公益ポータルの展望と、各センターでの推進計画の検討

### 内部検討会実施

8月8日・9日 地域・テーマ別@ポータル推進プロジェクト第2回推進会議 参加

場所：別府

参加者：戸上昭司（団体会員）、都筑里美（事務局）

テーマ：1日目 懸案事項の検討と、各センターの計画・方針、課題の確認  
2日目 ポータル運営に関する疑問の解消、運営者条件の検討、各センターの計画整理

### 内部検討会実施

11月9日 地域・テーマ別ポータル推進プロジェクト第3回推進会議 参加

場所：東京

参加者：戸上昭司（団体会員）、都筑里美（事務局）

テーマ：今後のポータル開設計画/来年度のポータル推進プロジェクト全体の進め方

### 内部検討会・実施

### < 2 . 成果 / 課題 >

地域資源の循環を行うために必要となる情報開示の全国の事例と、地域資源の循環とNPOの社会的な信用度を高めるための情報開示を掛け合わせた「公益ポータル」という手法を学んだ。団体内で、「グリーンプロモーション」(1-1参照)をベースとした中小企業から寄付を募り、地域のNPOに還元する地域資源循環の仕組みと、NPO法人中部リサイクル運動市民の会が行ってきた「不用品データバンク」をベースとした、「モノ」のやりとりからはじめる地域資源循環の仕組みの検討を行った。今後、システムのためのシステム作りに陥らないよう、東海の基本理念にそい、「豊森」(1-4参照)など、現場のニーズに必要性(リアリティ)のあるシステム作りを目指したい。

### 3 . ネットワーク支援事業

持続可能な社会づくりを行うNPO、企業、行政、地域が抱えている様々な課題に対して、お互いに支援し合えるネットワークづくりを支援・促進する事業。

- 3-1 グリーン購入推進事業（2008年度該当事業なし）
- 3-2 ネットワーク支援事業（2008年度該当事業なし）
- 3-3 SRプロジェクト
- 3-4 情報交流会の開催
- 3-5 瑞穂区まちづくり支援事業
- 3-6 グリーンマップ事業（準備中）

#### 3 - 3 . SRプロジェクト

##### 目的

地元企業のCSRを推進するためのネットワーク・プラットフォーム形成に取り組む。調査、CSRセミナー・交流会・勉強会などを開催し、地域におけるSR（CSR）とは？を考え推進していく場を作る。

##### 実施概要

サステナブル経営研究会と協働し、CANPAN CSR大賞地域推薦枠の東海三県枠ノミネート企業検討会を行う。応募企業18社より3社を選考。7月に、「地域企業のためのCSRセミナーIN東海」を開催。3社への投票により、東海地域枠ノミネート企業を、(有)ワッツビジョンに決定。全国の市民によるWEB投票の結果、(有)ワッツビジョンがグランプリを受賞。12月2日に、懇親会を開催。1月28日に、NPO法人参画プラネット・岐阜市との合同主催で、「協働推進ワークショップ 地域から始まる協働時代。」を開催。2月4日に、同じくNPO法人参画プラネットと合同主催で、「CSRセミナー 地域を育てる企業に変わる！」を開催。

#### < 1 . CANPAN CSR大賞2008 地域企業推薦検討委員会を開催 >

開催日時：2008年7月7日（月） 開催場所：ピーエスサポート 本山事務所

主催：地域の未来・志援センター 協力：サステナブル経営研究会

検討委員：(株)ピー・エス・サポート 村田元夫

愛知県 産業労働部産業労働政策課 松本光功

環境カウンセラー 浅野智恵美

岡崎まち育てセンター・りた 三矢勝司

株式会社三重銀総研 馬場基記

東海三県の企業に対して、中小企業同友会や、商工会議所を通じ、CANPAN CSR大賞2008への応募を呼びかけたところ、自薦・他薦を含め18社がエントリーされた。サステナブル経営研究会と協力し、地域推薦企業検討委員会を開催。地域推薦企業の候補として、愛知・岐阜・三重から3社を推薦。各企業に7月30日の地域企業のためのCSRセミナーIN東海でのプレゼンを依頼。



7月7日検討会議の様子

## < 2. 『地域企業のための CSR セミナー IN 東海』開催 >

開催日時：2008年7月30日（水）13:30-16:30pm 開催場所：ウィルあいち2F 特別会議室

主催：地域の未来・志援センター 地域協力：サステナブル経営研究会

協力：日本財団公益コミュニティサイト CANPAN、ダイバーシティ研究所

参加者数：44名（企業17・NPO15・行政/中間支援6・学生6）

内容：1. 基調発題「これからの企業経営とCSR/ISO26000 導入が与える影響」

田村太郎氏（ダイバーシティ研究所）

2. 地元企業のCSR取り組み事例発表 3社

(有)ワッツビジョン/株山田組/株鍋屋バイテック

3. パネルディスカッション

4. 日本財団コミュニティサイト CANPAN の紹介

5. CSR プラス大賞への東海地域ノミネート企業発表



CSR セミナーチラシ



7月30日セミナー:会場の様子



事例発表の様子

## < 3. 『ワッツビジョン CSR 大賞グランプリ祝賀会』開催 >

開催日時：2008年12月2日（火）19:00-21:00pm 開催場所：大地が厨房自然や

主催：地域の未来・志援センター

参加者数：20名



12月2日祝賀会の様子

## < 4. 『地域からはじめる協働時代～市民・NPO・自治体の「顔が見える」関係づくり～』開催 >

開催日時：2009年1月28日（水）13:30-16:30pm 開催場所：岐阜市役所西別館3階会議室

主催：地域の未来・志援センター/NPO 法人参画プラネット/岐阜市

協力：日本財団公益コミュニティサイト CANPAN、IHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

参加者数：43名（NPO30・行政11・学生2）

内容：1 事例報告 地域を拓く協働とは？～長良川文化団体連絡会 長良川文化フォーラム～

2 基調講演 協働から生まれるものとは？～協働調査で見えてきたこと～

IHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表川北秀人氏

3 グループワーク 協働を育てるために 知りたいこと/伝えるべきこと

4 話題提供 日本財団公益コミュニティサイト「CANPAN」

日本財団 荻上健太郎氏



1月28日セミナーチラシ



セミナーの様子

< 5 . CSR セミナー 『地域を育てる企業に変わる！～ ISO26000 を経営戦略に活かす為に～』開催 >

開催日時：2009年2月4日（水）14:00-17:30pm 開催場所：つながれっと NAGOYA

主催：地域の未来・志援センター/NPO 法人参画プラネット

協力：日本財団公益コミュニティサイト CANPAN、IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

参加者数：53名（企業14・NPO20・行政4・学生/研究機関15）

内容：1 基調講演 企業の社会的責任に関する国際的な動向～ ISO26000 最新動向説明会～  
損保ジャパン CSR環境推進室長 関正雄氏

2 話題提供 日本財団公益コミュニティサイト canpan  
CSRプラスおよびCSR大賞2008の紹介  
日本財団 荻上健太郎氏

3 パネルディスカッション

前半 なぜ企業戦略として「攻めのCSR」を行うのか？

後半 産・学・民で考える、「C」SRから地域のSRへ

損保ジャパン CSR環境推進室長 関正雄氏

デンソー CSR推進室長 岩原明彦氏

ワッツビジョン 社長 横井暢彦氏

サステナブル経営研究会 村田元夫氏

IIHOE 代表 川北秀人氏

名古屋市立大学 教授 藤田栄史氏

参画プラネット 代表 渋谷典子氏

地域の未来・志援センター 理事長 萩原喜之氏



2/4 CSR セミナーチラシ



パネルディスカッションの様子



2/4 CSRセミナー 会場の様子



懇親会にて、CSO ラーニング卒業生と関さんの再会

## < 6 . 成果 / 課題 >

【成果】7月のCSRセミナーでは、従業員8名のタイル工房、(有)ワッツビジョンが、東海地域のCSR企業として選ばれた。その後、全国のWEBによる市民投票の結果、大手企業を抜いて一位となった。また、事前の選考会等を開催した地域は他になく、当地域が中小企業のCSR企業の発掘が全国的にも先進的であることがわかった。1月の岐阜市協働セミナーおよび、2月のCSRセミナーでは、異分野である男女共同参画系NPO参画プラネットと共催で行った。このため、新しい分野の市民・企業に対してSRの考え方を普及できたこと、環境系NPOと男女共同参画系NPOの出会いの場を提供できたことは、価値がある。

【課題】これまで、3年間、年2回CSRセミナーを開催してきて、地域の企業・NPO・行政でSRに関心の有る層のデータベースが団体内に蓄積されてきた。今後もSRの担い手となる新たな層を開拓していくと同時に、今後は、その“資源”を生かしどう次のステップへ発展させていくかを、地域資源マッチングシステム事業と平行させながら考えていきたい。

### 3 - 4 . 情報交流会の開催

#### 目的

セブン-イレブンみどりの基金との協働でそれぞれの地域で実際にそこにある課題をテーマにして環境、まちづくりの分野などをテーマに活動している人があつまり、情報交換、交流することで個人同士のつながりを生み、地域内連携、地域間連携のきっかけの場になり、個々の活動が活性化することを目的とする。

#### 実施概要

本年度は開催に向けての準備を行い、三重県津市(アスト津イベント情報コーナー)でセブン-イレブンみどりの基金とNPO 法人みえ NPO センターとの3団体による主催で2009年9月23日(祝)に行うことが決定しました。

### 3 - 5 . 瑞穂区まちづくり支援事業

#### 目的

既存の地域通貨のシステムが再構築できるように、例年行われている、地域通貨に関連した区内のイベントを通じて、それに関係するセクター(地域通貨みずほの会、瑞穂区役所、商店街、自治組織、大学、高校など)をつなぎ、問題提起し、協働の場を設けて、問題解決へと導く仕掛けをつくる。

#### 実施概要

地域通貨のかたちを再考するため、“地域通貨みずほの会”の今までの活動を振り返り、今後の活動の方向性などを月1回のワークショップを通じて行い、問題点、課題を上げ、それを解決するためのツールとして、“瑞穂区人権尊重のまちづくり事業”である「心がふれあうマップづくり」を通じて、地域と連携し、地域に“地域通貨みずほの会”の存在と活動の趣旨を伝え、理解者、会員の獲得を昨年度に引き続き、ねらった。

< 1. 「地域通貨みずほの会」ワークショップの開催 >

| 開催日                          | 項目   | 参加者数                      |
|------------------------------|--|---------------------------|
| 第1回<br>(通算第10回)<br>4月9日(水)   | 1 前回のワークショップの振り返り<br>2 マップの内容の確認   | 11名<br>会員6<br>区役所4<br>当方1 |
| 第2回<br>(通算第11回)<br>5月21日(水)  | 1 前回のワークショップの振り返り<br>2 マップの内容の確認<br>3 5/31のまちあるきについて   | 10名<br>会員7<br>区役所2<br>当方1 |
| 第3回<br>(通算第12回)<br>6月25日(水)  | 1 前回のワークショップ、まちあるきの振り返り<br>2 マップの内容の確認   | 13名<br>会員7<br>区役所5<br>当方1 |
| 第4回<br>(通算第13回)<br>7月16日(水)  | 1 前回からの変更点の説明<br>2 原さんから変更点、修正点<br>3 配布対象の決定<br>4 印刷部数の決定<br>5 配布方法の決定<br>6 紙質の確認<br>7 マップを使ったまちあるきについて  | 11名<br>会員7<br>区役所3<br>当方1 |
| 第5回<br>(通算第14回)<br>9月10日(水)  | 1 グリーンマップの配布状況、その他について<br>2 区民まつりの報告(区役所から)<br>3 七夕まつりの報告<br>4 アミーユの七夕まつりの報告<br>5 月末の豪雨について<br>6 区民まつり3グループ合同の反省会の案内(区役所から)<br>7 わくわくみずほまつりについて<br>8 雁道、秋祭りの報告、9 今後の方針 | 10名<br>会員7<br>区役所2<br>当方1 |
| 第6回<br>(通算第15回)<br>10月15日(水) | 1 わくわくみずほまつりでの活動について<br>(1) 餅つきについての説明<br>(2) グリーンマップの活用<br>(3) 地域通貨のアピールの方法   | 9名<br>会員6<br>区役所2<br>当方1  |
| 第7回<br>(通算第16回)<br>11月19日(水) | 1 「わくわくみずほまつり」での地域通貨の報告<br>2 グリーンマップの活用について<br>3 地域通貨の今後の仕組み作り、アピール方法について  | 7名<br>会員4<br>区役所2<br>当方1  |
| 第8回<br>(通算第17回)<br>1月21日(金)  | 1 グリーンマップの活用について<br>2 地域通貨の今後の仕組み作り、アピール方法   | 9名<br>会員6<br>区役所2<br>当方1  |
| 第9回                          | 1 高蔵高校、特別講座(3月10日(火)午前中)   | 10名                       |

|                                      |  |                               |
|--------------------------------------|--|-------------------------------|
| (通算第 18 回)<br>2 月 25 日 (水)           | 2 グリーンマップの活用について<br>3 地域通貨の今後の仕組み作り、アピール方法<br>4 来年度の予定 | 会員 7<br>区役所 2<br>当方 1         |
| 第 10 回<br>(通算第 19 回)<br>3 月 11 日 (金) | 1 雁道おかみさん会、100 円商店街 4/15(水)<br>2 地域通貨の今後の仕組み作り、アピール方法  | 10 名<br>会員 7<br>区役所 2<br>当方 1 |

**結果・課題：**

昨年の課題にあった、昨年からの流れ（メンバー間、区役所担当者との間で会の中の目指す方向が再び再確認され、現状の認識と課題が徐々にではあるが参加メンバーの共通の認識になった）をいかに団体（みずほの会）に残すか、地域の地縁組織をいかに進めるかということで、本年度は定例会のワークショップの中から区の祭り（区民まつり）や地域のイベント（七夕まつり（雁道商店街、老人ホーム） わくわくみずほまつり、高蔵高校（特別講座））に積極的に参加しながら団体の活動を地域の人々へ伝えることになった。

グリーンマップの作成で縁ができた団体 との関係もあって、雁道おかみさん会（世話人：吉川富士子（みずほの会））が立ち上がり、先般このおかみさん会が主催で年金受給日（偶数月 15 日）に“100 円均市”を開催した。この日は普段は出歩かないお年寄りが郵便局に行くために外に出るため、商店街のお店に 100 円で買える物を用意してもらい、気軽にお店を覗いてもらおうという企画で、このことでお年寄りの人とお店の人との出会い、つながりを作るねらいのものである。新聞にも掲載され好評を得ている。みずほの会もこの企画及びおかみさん会の活動と協力、連携する動きがでてきている。また、6 月からはみずほの会主催で地域の住民と会員が交流し、地域のニーズを把握する場、みずほサロンを開催する。おかみさん会を通じて地域通貨の会員が増え、サロンを通して期待できる。

**【町歩き調査を区役所をはじめ多くの地縁組織、市民団体、地域の学校（高校、大学）と連携】**

雁道商店街振興組合、栄市場、賑町商店街、雁ぶら物語、雁道一丁目町内会、雁道一丁目長寿会、名古屋雁道郵便局、名古屋経済大学高蔵高等学校（生徒会部）、名古屋市瑞穂区西部地域包括支援センター、みつるぎ女性会、名古屋柳城短期大学長谷中研究室、訪問介護事業所夢愛ケア、瑞穂区役所まちづくり推進室（以上、13 団体）



ワークショップの様子



ワークショップの様子



2009 年 4 月 16 日  
中日新聞(朝刊)

## 4 . 情報提供事業

持続可能な社会づくりを行う NPO、企業、行政、地域の情報の収集と発信に関する事業

### 4-1 WEB・情報発信（HP、DB、GIS）

#### 4 - 1 . WEB・情報発信

##### 目的

地域を担う市民（NPO 等）のネットワーク化並びに市民が必要な情報提供を意識した情報の受発信を行う。

##### 実施内容

今年度は昨年の課題にあげました、HP 上に地域デザインに関する情報（書籍や人物など）を盛り込むのと同時に、運営体制の項目においても理事等のプロフィール及び写真などを盛り込み、団体の情報発信を行った。

また、CANPAN（日本財団公益コミュニティサイト）に団体情報を登録し、情報開示レベルを最高レベルの 5 ポイント（5 つ）の内容を開示することで団体の活動の透明性に努めた。

[https://canpan.info/open/dantai/00000900/dantai\\_detail.html](https://canpan.info/open/dantai/00000900/dantai_detail.html)

最後に HP 上でイベントやセミナー、助成金情報の提供はもちろんのこと、メーリングリストを使つてのメールニュースの発信やブログ機能を用いて種々の情報の提供と団体の活動を紹介した。

発信した日時とそのタイトルを以下にまとめた。

内容：

| 日付                              | タイトル   |
|---------------------------------|--|
| メールニュース（全 19 件 14 件（2007 年度））   |  |
| 08/04/02                        | 【お知らせ】締め切り迫る！デンソー「地域の環境活動への助成」                           |
| 08/06/17                        | 地域の未来・志援センター メールニュース 2008 年 6 月 17 日発行                   |
| 08/06/18                        | 【お知らせ】第 2 回日本財団 CSR プラス大賞 地域推薦企業募集 他                     |
| 08/06/19                        | 【お知らせ】締め切り迫る！ドイツ海外研修募集                                   |
| 08/07/16                        | 【お知らせ】7/30（水）日本財団 CSR プラス大賞 『地域企業の CSR セミナー in 東海』       |
| 08/09/16                        | 【お知らせ】第 2 回 市民が選ぶ『CSR プラス大賞』 投票開始！                       |
| 08/10/08                        | 10 月 25 日（土）「DENSO YOUTH for EARTH Action ～新・地球人プロジェクト～」 |
| 08/10/08                        | 10 月 25 日（土）「岐阜市まるごと環境フェア 学生環境会議」                        |
| 08/11/10                        | 12 月 2 日（火）ワッツビジョン CSR プラス大賞グランプリ祝賀会                     |
| 08/11/17                        | 【ご案内】開催迫る：6 団体の助成金担当に会える、助成金セミナー                         |
| 08/11/28                        | 【お知らせ】助成金セミナーの資料をお送りします                                  |
| 08/12/18                        | 1 月 28 日（水）協働推進ワークショップ「地域からはじまる、協働時代」申込受付開始！             |
| 08/12/18                        | 2 月 4 日（水）CSR セミナー「地域を育てる企業に変わる！」申込受付開始！                 |
| 09/01/21                        | 【お知らせ】締め切り迫る！セブン-イレブンみどりの基金 2009 年度『公募助成』                |
| 09/02/07                        | 【お知らせ】2/14、3/7 プレ講座「豊森なりわい入門」開催！                         |
| 09/05/01                        | 【お知らせ】締め切り迫る！デンソーエコポイント制度助成                              |
| 09/05/02                        | 【豊森】豊森なりわい塾開講記念第 1 回公開講座のご案内                             |
| 09/05/13                        | 【お知らせ】6 / 13（土）2050 年担い手塾スタディーツアー                        |
| 09/05/15                        | 【お知らせ】助成金情報など（地域の未来・志援センター）                              |
| ブログ（52 件 34 件（2007 年度））         |  |
| 環境 NPO 助成情報（11 件 16 件（2007 年度）） |  |

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 08/03/27                    | 「三井物産環境基金『2008年度第1回活動助成』案件募集」のお知らせ(4月30日締切) |
| 08/04/25                    | 「トヨタ環境活動助成プログラム」2008年度募集を開始                 |
| 08/05/24                    | 「TOTO水環境基金」2008年度の助成団体を募集!                  |
| 08/06/02                    | 「あいちモリコロ基金」平成20年度初期活動(後期)募集中!               |
| 08/12/08                    | 助成金セミナー、講師説明資料(3団体分)アップしました!                |
| 08/12/25                    | セブン-イレブンみどりの基金2009年度『公募助成』のお知らせ(1月31日締切)    |
| 09/03/10                    | 「三井物産環境基金」2009年度第1回募集を開始                    |
| 09/04/10                    | 株式会社デンソー 地域還元事業「地域の環境活動への助成」スタート!           |
| 09/04/27                    | 花王「みんなの森の応援団」プロジェクト学生レポーター募集                |
| 09/05/11                    | 「トヨタ環境活動助成プログラム」2009年度募集を開始                 |
| 09/05/15                    | 「TOTO水環境基金」2009年度の助成団体を募集!                  |
| -----                       |   |
| 環境活動情報(11件 14件(2008年度))     |   |
| 08/04/15                    | (仮称)環境活動支援センター九州設立準備会、新規事務局職員募集!!           |
| 08/04/23                    | 2008年度「損保ジャパンCSOラーニング制度」受講者募集!              |
| 08/05/12                    | 5月24、25日石徹白(岐阜)マイクロ水力シンポのお知らせ               |
| 08/05/12                    | セブン-イレブンみどりの基金主催「第11回環境ボランティアリーダー海外研修募集」    |
| 08/05/16                    | 『地域リーダーのためのファシリテーション講座(入門編)』                |
| 08/07/21                    | 「(仮称)環境活動支援センター九州」設立準備会 事務局職員募集             |
| 08/08/23                    | 『チームを活性化させるファシリテーション講座(入門編)』                |
| 09/01/20                    | 2月8日(日)「菜の花 潮騒クリーンハイキング 春」                  |
| 09/04/22                    | 「損保ジャパンCSOラーニング制度」参加者募集!                    |
| 09/04/23                    | 『チームでの問題解決を促すファシリテーション入門講座』                 |
| 09/05/12                    | セブン-イレブンみどりの基金主催「第12回環境ボランティアリーダー海外研修募集」    |
| -----                       |   |
| 団体活動ブログ(CANPAN ブログ)(30件 新規) |   |

#### 課題

来年度は昨年課題としてあげていた過去のセミナー、イベントなどで知り合った方々の名刺をDATABASE化と助成機関の一覧表の作成が未達ですので、完成させるとともに、CANPANペイメント(ネットを利用してクレジットカードで寄付を受けられる機能)の機能をブログの中に組み込み、ファンドレイズの一つにできるかの模索を行うことに力を入れいく。

#### (イ) その他の事業(特定非営利活動に係らない事業)

なし